

認定NPO法人ミュージック・シェアリング

MUSIC SHARING
2024年度



ICEP 訪問プログラム 2024

Visiting Program

活動報告書



認定NPO法人ミュージック・シェアリング

〒102-0083 東京都千代田区麹町2丁目5-18 半蔵門ハウス601
TEL:03-6256-9733 FAX: 03-6256-9734 E-mail:info@musicsharing.jp
<http://www.musicsharing.jp>

■ 認定NPO法人ミュージック・シェアリングとは

1992年より「みどり教育財団東京オフィス」として活動を開始し、文化・芸術の振興と子どもの健全育成を目的として活動してきました。2002年に特定非営利活動（NPO）法人ミュージック・シェアリングへ組織変更し、近年では高齢者の方々も視野に入れて更なるプログラムの充実を図っています。音楽を通して人々のクリエイティビティを高め続けるだけでなく、音楽家の社会貢献活動に対する理解を深める場として、常に時代を先取りした音楽プログラムを実施しています。

ミュージック・シェアリングの活動は、個人・法人の皆様から寄せられるご寄付や協賛金、助成金で運営されています。

■ ミュージック・シェアリングの理念

ミュージック・シェアリングは、人々にとって本物の音楽、音楽家がもっと身近なものになるようにし、豊かな人間性をめざす環境作りの手助けを行います。たくさん子どもたちや高齢者の方々が教養を高め続けられるようにするために、本物の音楽を通じて活動し、その内容を常に見直し、時代に先立って新たなプログラムを創造し続けていきます。

～ミュージック・シェアリングが提供する4つの活動～

○楽器指導支援プログラム

ミュージック・シェアリングでは2006年より、音楽大学の学生や卒業生から成る“サポーター・アーティスト（旧 楽器指導・演奏ボランティア）”を関東地区3つの特別支援学校に派遣し、担当教諭と一緒に生徒たちへ楽器の演奏指導、モデル演奏を実施してきました。その後、参加校は増え続け、2022年現在、関東地区・関西地区合わせて計11校が参加しています。授業や課外活動での定期的な指導は、生徒たちの興味を深め、新たな自己表現・自己実現につながります。同時に、若い演奏家たちの社会貢献活動に対する理解や意欲を高める場ともなります。

○訪問プログラム

音楽家との交流を望む子どもたちや、様々な事情でコンサートホールへ足を運ぶ機会の少ない人々のために、ミュージック・シェアリングの協力アーティストが全国の学校、特別支援学校、児童養護施設、病院、高齢者施設などを訪問します。

体育館や集会室でのコンサート、教室訪問、病室訪問、教員向けのマスタークラスなど、団体のニーズに合わせた内容を検討し、ともにプログラムを作ります。

「子どもたち」「学校・団体の先生方」「演奏家」の三者が音楽を通して出会う機会を提供し、関わる全ての人が豊かなクリエイティビティを育むプログラムを目指します。

○ICEP

アジアの国々を訪れ、学校・子ども病院・児童施設・高齢者施設などに生演奏を届けることで、普段西洋音楽に触れる機会の少ない子どもたちなどが音楽を通じてクリエイティビティ・相互理解・向上心を育み、視野を広げ、明日への夢を抱きかけ作りを提供しています。同時に、若手音楽家の社会貢献活動の場としての側面も持ち、世界からオーディションにより選ばれた若手音楽家3名が、五嶋みどりとアンサンブルを結成し、訪問先に相応しいコンサート内容を考案し演奏します。若手音楽家が本企画に参加することで、音楽における社会貢献活動とはどのようなことなのか、現地の音楽学生とともに実体験を通じて認識していきます。

○Play&Joy!

大自然の中で育つ、世界を歌う子どもたちを対象に、ミュージック・シェアリングのサポーター・アーティストが、この活動の支援者によって用意された楽器を携えて、施設を定期的に訪れます。手にしたことのない楽器に親しみ、自分の音に出会い、今までにない自己表現の喜びを体験する活動です。現在、和歌山県、香川県、沖縄県の5施設で行われています。

■ ICEP Japanツアーのスケジュール

開催日時	都府県	施設名・活動内容	施設の種類
6月5日	大阪府	大阪府立茨木支援学校	特別支援学校
	大阪府	大阪市立東生野中学校夜間学級	夜間学級
6月6日	和歌山県	田辺市立中辺路小学校	小学校
	和歌山県	田辺市立中辺路中学校	中学校
6月7日	和歌山県	田辺市立近野小学校	小学校
	和歌山県	田辺市立近野中学校	中学校
6月10日	青森県	国立療養所松丘保養園	医療機関
6月11日	秋田県	国立病院機構あきた病院	医療機関
6月12日	東京都	東京都立小平特別支援学校	特別支援学校（小、中）
	東京都	大田区立糀谷中学校夜間学級	夜間学級
6月13日	群馬県	群馬県立盲学校	盲学校
	群馬県	医療法人一歩会緩和ケア診療所・いっぽ	訪問診療所
6月14日	東京都	品川区立豊葉の杜学園	小学校
	東京都	ガラコンサート	
6月15日	大阪府	活動報告コンサート	
6月16日	京都府	文化体験（座禅レクチャー）	天龍寺
6月17日	奈良県	奈良県立奈良東養護学校	特別支援学校
	神奈川県	横浜市立蒔田中学校夜間学級	夜間学級
6月18日	東京都	品川区立豊葉の杜学園	小学校
	東京都	活動報告コンサート	
6月19日	茨城県	茨城大学教育学部附属特別支援学校	特別支援学校
6月20日	香川県	香川県立香川西部支援学校	特別支援学校
	香川県	医療法人社団五色会こころの医療センター 五色台	医療施設

■ ICEPカルテットについて

ICEPカルテットは毎年世界中から厳しいオーディションを経て選ばれた、プロの若手音楽家と理事長五嶋みどりで構成される弦楽四重奏です。2006年から続くこの活動では12月にアジアの開発途上地域を、翌年6月に日本各地の施設を訪れ音楽活動・文化振興活動を行ってきました。2024年度6月の日本ツアーでは、全国18箇所の施設・学校を訪れる訪問プログラムに加え、大阪・東京の二箇所で開催コンサートを行いました。

■ ICEPカルテットメンバー（ラオス・日本2023/2024）



Photo: T. Greenfield-Sanders

五嶋みどり（ヴァイオリン）

Midori

大阪生まれ。10歳で渡米。同年ニューヨーク・フィルとの協演で楽壇にデビュー。以来世界の名だたる音楽家と共演を重ね、40余年を数える。20歳で非営利社会活動団体「Midori&Friends」（米国NY）と「ミュージック・シェアリング」（日本）を設立。使用楽器はガルネリ・デル・ジェス「エクス・フォーベルマン」（1734年作）。現在、カーティス音楽院等で教鞭をとる。国連ピース・メッセンジャー。



Photo: Lucía Alonso

エレノア・デ・メロン（ヴァイオリン）

Ellinor D'Melon

ジャマイカ生まれ。キューバ人の両親のもとで2歳からヴァイオリンを始める。11歳よりソフィア王妃高等音楽院（スペイン）でザハール・ブロン教授に師事。世界の由緒あるホールでロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団（イギリス）、マリンスキー劇場管弦楽団（ロシア）等と共演を重ねる。演奏楽器は匿名貸与された1743年製のG.B.グァダニーニ。



笠井大暉（ヴィオラ）

Hiroki Kasai

東京生まれ。4歳よりヴァイオリンに親しむ。ラガーディア高校・音楽芸術部門（米国）卒業後、渡英。王立音楽院、国際メニューイン音楽アカデミーで学び、国際音楽アカデミー小澤征爾塾（スイス）でも研鑽を積む。2022年ソフィア王妃高等音楽院（スペイン）にヴィオラ専攻で入学、今井信子の薫陶を受ける。ヴァイオリン、ヴィオラ奏者として欧米、アジア各地で広く活躍中。



Photo: Juan de la Fuente

アレハンドロ・ゴメス・パレハ（チェロ）

Alejandro Gómez Pareja

スペイン、マドリッド生まれ。4歳からチェロを弾き始める。現在はソフィア王妃高等音楽院（スペイン）にて、イェンス＝ペーター・マインツに師事。パブロ・カザルス国際チェロ・コンクールにて準優勝し、指揮者のダーヴィット・アフカム、アロンドラ・デ・ラ・パーラ等とも共演するなど、ソリスト、室内楽奏者として情熱的、献身的に活動している。



天野ひまり（インターン・コーディネーター）

Himari Amano

神奈川県出身。国際基督教大学教養学部にて教育学と音楽学を専攻中。大学在学中にヴィクトリア大学、ベルリン自由大学にて短期留学を経験。4歳よりヴァイオリンを始め、コンクールや公開レッスンに参加、教育施設や地域の施設などで演奏活動を行っている。現在、小中学生向け音楽理論の講座を開講し、音楽教育にも携わっている。

■ 演奏曲目

- ・チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」
- ・ハイドン：弦楽四重奏曲 第78番 変ロ長調「日の出」Op. 76-4
- ・サンサーンス：組曲「動物の謝肉祭」より第12曲「化石」
- ・本居長世：七つの子
- ・ハンナ・イシザキ：サルとワニのお話
- ・ブラームス：弦楽四重奏曲 第1番 八短調 Op. 51-1
- ・ベートーヴェン：交響曲第5番より第1楽章
- ・チャイコフスキー：組曲「くるみ割り人形」より「トレパーク」

■ 訪問先別レポート

6月5日(水)

大阪府立茨木支援学校（大阪府）

コンサート1回 教室訪問6クラス
生徒81名
職員61名

午前中は低学年の教室を訪問。先生含め、各10名ほどの前で合計6部屋を訪問した。午後は生徒30人程度、職員15人程度の合計50名弱の前で発表した。「サルとワニのお話」では先生方が分かりやすいように工夫をしてくださり、スムーズに進んだ。昼食の時間は生徒たちがどのように食事をとっているのか見学した。



大阪府立東生野中学校（大阪府）

コンサート1回
生徒、職員約30名

夜間学級を訪問。30人ほどの前で演奏。「サルとワニのお話」は生徒2人と先生1人が担当。コール・アンド・レスポンスが非常に盛り上がった。生徒はほとんどが大人で、参加楽曲以外は静かに演奏を味わっている様子だった。



6月6日(木)

田辺市立中辺路小学校（和歌山県）

コンサート1回、教室訪問2クラス
児童37名
職員12名

低学年は教室訪問を2部屋、高学年はコンサートを行なった。教室訪問は各部屋5人ほどで、高学年は3学年あわせて21人の児童の前で演奏した。興味津々に参加している児童が多く、質問も多かった。「サルとワニのお話」は先生1人が担当し、コール・アンド・レスポンスには全生徒が意欲的に参加していた。また、楽器紹介にて楽器と触れる機会があり、演奏者との交流を楽しんだ。演奏後には児童による三味線の発表があった。地域にちなんだ作品を三味線・リコーダー・歌を使って披露してくれた。給食は4部屋に分かれて各演奏者が共にし、貴重な交流の機会となった。



田辺市立中辺路中学校（和歌山県）

コンサート1回
生徒31名
職員12名

生徒31名と職員10名程度の前で音楽室にてコンサートを行なった。「サルとワニのお話」は生徒4人が参加し、どの生徒も楽しそうに聞いていた。楽器紹介では楽器に触れたり、弾いてみる機会があり、人気のあるコーナーだった。演奏後には生徒が音楽の授業で練習しているスピッツの「チェリー」を演奏した。カルテットメンバーには先生が楽譜を用意していただき、生徒はギター、ドラム、歌などで共に演奏をした。活発な雰囲気での訪問となった。



6月7日(金)

田辺市立中辺路小学校（和歌山県）

コンサート1回、教室訪問1クラス
児童19名
職員8名

教室訪問では1年生の教室を1室訪問。児童数は4人。問いかけに対して元気に反応していた。後半は3～6年生15人の前でコンサートをした。どの曲にも真剣に耳を傾け、質疑応答では質問が次々と来た。給食の時間でも面白い質問（弓の毛はどうして馬なのか、しまうまではだめなのかなど）があり、メンバーも考えさせられることが多かった。コンサート終了後、太鼓などを使った日本伝統音楽の披露があった。



田辺市立近野中学校（和歌山県）

コンサート1回
生徒14名
職員12名

生徒14名と先生の前でコンサート形式で披露。英語を勉強している生徒たちは質疑や挨拶の際もメンバーとのコミュニケーションに積極的に挑戦していた。楽器紹介の際は楽器に触れながら演奏を聞くことができ、有意義な時間となった。



6月10日(月)

国立療養所松丘保養園（青森県）

コンサート1回、病室訪問2部屋
患者32名
職員25名

現在の入居者数は41名、平均年齢は88歳の施設。職員は200人を超える。コンサートは70人ほどが鑑賞した。終了後での交流の時間では質問やリクエスト、感想などを多くいただき、有意義な時間となった。病室訪問として2部屋を訪問。



6月11日(火)

国立病院機構あきた病院（秋田県）

コンサート3回、病室訪問70部屋
患者、職員81名

約30人の患者様が集まる25分間のコンサートを午前中に3回、午後には各演奏者が2病棟ずつ病室を訪問し、合計70室を訪問した。涙を流したり、体を動かしたりと、それぞれ音楽を楽しんでくださった。コンサートと病室訪問を合わせて約340名の患者様に音楽を届けることができた。患者様とより近くでコミュニケーションをとったり触れ合うことで、メンバーも多くのことを考えたり学び、共有する良い機会となった。



6月12日(水)

東京都立小平特別支援学校（東京都）

コンサート1回、教室訪問10部屋
生徒約120名
職員約50名

午前中は小学生を対象に教室訪問で合計10クラスで演奏をし、午後には中学生を対象にコンサートを行った。教室訪問では先生方も一緒に楽しんでくださり、コンサートにいきたいと声をかけてくれた児童もいた。コンサートでは興味津々に耳を傾け、コンサート後には質問やリクエストもいただいた。

大田区立糎谷中学校 夜間学級（東京都）

コンサート1回
生徒約20名
職員約10名

35分の短いコンサートを生徒約20人と職員の方々の前で行った。コンサート会場は舞台のように飾られており、校内には楽器に関する事前学習の発表や大きなウェルカムボードがあり、メンバーも楽しませていただいた。コンサート後は給食（夕食）を共にし、音楽や故郷に関する話で交流を深めた。



6月13日(木)

群馬県立盲学校（群馬県）

コンサート1回、教室訪問1回
生徒19名
職員24名

小学校1年生4人のクラスに訪問し、後半は小学2年生から高校生までの約15人と職員の前でコンサートを行った。視覚的に楽器を見ることができないからこそ、触ったり、集中して耳を傾けることで児童・生徒が楽しんでいる様子が伺えた。最後の生徒代表からの挨拶では感動が伝わり、印象的だった。生徒からの質問も多く、演奏者と生徒と一緒に座り、対談することができた。



医療法人一步会（群馬県）

コンサート1回
患者34名
職員15名

自宅訪問を行う診療所を訪問し、患者様やご家族、ご遺族30人と職員の皆様のためにコンサートを行った。「七つの子」では涙を流している方もおり、いただいた感想カードにてたくさんのお褒めをいただいた。



6月14日(金)

品川区立農業の杜学園（東京都）1日目

コンサート2回、教室訪問8クラス
児童378名
職員21名

区立の大きな小学校で、楽器に触れる機会や給食での交流の時間は児童たちに囲まれ、メンバーも皆楽しそうだった。ひとクラス30名のクラスを各ひとクラスずつ訪問し、高学年にはコンサートを披露した。



6月17日(月)

奈良県立奈良東養護学校（奈良県）

コンサート2回
生徒92名
職員53名

高等部と中学部にて、それぞれコンサートを開催した。サルとワニのお話では「馬鹿」や「友達でもない」の部分を生徒に配慮して学校側がセリフをアレンジしてくださり、柔軟にパフォーマンスをした。ワニのコール・アンド・レスポンスではこれまで喉を鳴らすような音を出していたが、生徒様のアイデアでワニが口を開けたり閉じたりする動作を手で表現したりし、これまでとは少し違った雰囲気になった。



横浜市立蒔田中学校 夜間学級（神奈川県）

コンサート1回
生徒16名
職員18名

コンサートを1回行った。最初は静かに聞いている様子だったが、楽器に触れる機会ではとても楽しそうに楽器を触ったり近くで見ている。また、サルとワニのお話では全員にセリフが割り当てられるという新しい試みをした。日本語を学び始めたばかりの生徒も先生が工夫して作ってくださった台本を頼りに懸命に読んでいた。



6月18日(火)

品川区立農業の杜学園（東京都）2回目

コンサート2回、教室訪問1クラス
児童93名
職員5名

教室訪問1クラスと、小学校4・5年生向けのコンサートを行った。音楽の授業で習ったベートーヴェンに関する知識を発表したりと、児童も積極的に参加していた。演奏時間が比較的長いブラームスにも集中して聞き入っていた。



6月19日(水)

茨城大学教育学部附属特別支援学校（茨城県）

コンサート1回、教室訪問4クラス
生徒45名
職員31名

小学部4クラスには教室訪問、中学高等部ではコンサートを行った。小学部では弦楽器の音で泣いてしまう児童がいると聞いており、先生方が心配していたが、全く泣くことなく聞いており、生演奏との違いを実感した。先生方もとても驚いている様子だった。コンサートは生徒の皆様が司会進行をしてくださり、温かみのある和やかな雰囲気の中で行われ、生徒だけでなく先生方も楽しんでくださっている様子が伝わった。給食もメンバーが5クラスに分かれて一緒にいただいた。



6月20日(木)

香川県立香川西部支援学校（香川県）

コンサート1回、教室訪問4クラス
生徒、職員94名

近くで楽器を見られることに対してとても嬉しそうだった。演奏者が立ち位置を途中で変更することで全ての生徒が間近に楽器を感じることができた。終了後は生徒からの歌のプレゼントもあり、学校にて長く歌い継がれてきた「夢」という曲を手話付きで披露していただいた。

医療法人五色会（香川県）

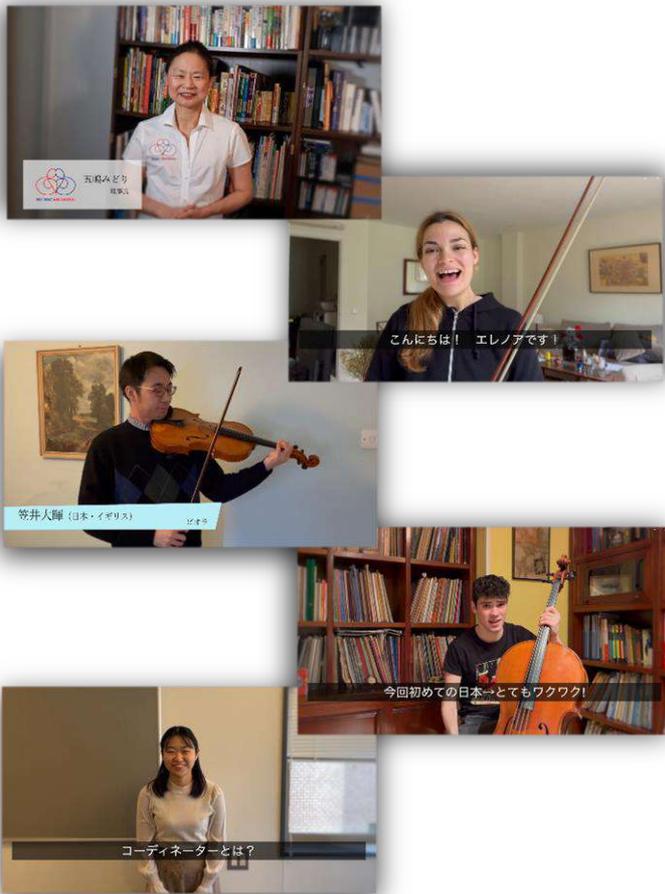
コンサート2回、病室訪問4部屋
患者185名
職員45名

2回のコンサートと4病棟のデイルーム訪問を行った。演奏の前にはホースセラピーを見学し、メンバーは馬と触れ合って楽しんだ。コンサートでは「なぜこのツアーに参加したのか」という質問があり、ツアー最終地点としてメンバー全員もこの3週間を振り返る良い機会となった。精神科病院は本施設が唯一の訪問先だったため、職員の皆様方にも質問をしたりすることで多くの学びがあった。



■ 事前にお送りした資料

施設別の挨拶動画



パンフレット： ミュージック・シェアリングだより



■ ボランティア・協力

今年度もボランティアの方々、そして訪問施設職員の方々にツアーを支えていただきました。移動時間が非常にタイトなスケジュールのなか、各施設～最寄り駅間の送迎や練習場所をご提供いただき、お蔭様にて無事、全訪問を終えることができました。改めて、皆様のお力添えに心から感謝いたします。

田下恵子先生 (和歌山)
奥山寿一様 (大阪、奈良)
岡橋正義様 (大阪、奈良)
秋元康範様 (香川)

田辺市教育委員会の方々
医療法人一歩会緩和ケア診療所いっぽの方々
品川区立豊葉の杜学園の方々
茨城大学教育学部附属特別支援学校の方々

■ メンバーの感想

○五嶋みどり

今年は悪天やコロナ陽性の為のキャンセルや延期となってしまう訪問がなく、予定通り全18施設に行けました。給食を頂きながら交流なども制限なくでき、子どもたちの積極的にこちらに質問を投げかける姿を見ながら、パンデミックの活動・行動制限の時期からやっと抜け出せた、とひしひしと感じました。青森から香川まで、移動が結構激しいツアーでしたが、あっという間に2週間が過ぎ、文化体験では京都で座禅のレクチャーなども多くの学びと経験に恵まれました。また、打ち合わせやメンバーとの事前学習やプランニングミーティング、施設に送る事前資料がオンライン化されたものも増え、約30年前、レクチャーコンサート(訪問コンサートの前身)では想像もできなかった事も多く、時代の流れを感じながら、何か「昔」を懐かしく想うことも。

○エレノア・デ・メロン

訪問した施設はスタッフの方々、施設を利用されているの方々、児童・生徒の方々、皆とても親切で、また積極的に私たちと音楽を通して交流しようとしてくれる姿勢がとても印象的でした。事前学習の機会を通して患者様とどう関わるかを学ぶことができたことは勉強になったと同時に、実際に患者様や生徒の皆様一人一人と触れ合っコミュニケーションを取る機会があったことは驚きでもあり、特別な経験でした。

○笠井大暉

患者様、生徒様、そして施設の方々が訪問をととても楽しみにしてくださっていたことが、皆様の温かい歓迎や、喜ぶ表情、ウェルカムボードをみて伝わり、嬉しかったです。日本に住んでいても行く機会のない施設にいったことはとても良い経験になりました。時には寝たきりになってしまった患者様に心が痛むこともありましたが、演奏を通して涙を流して感動してくださる姿をみて音楽を届けられたことを実感しました。音楽に対する考え方が変わるような、人生観を大きく変えた経験になりました。

○アレハンドロ・ゴメス・パレハ

全ての訪問先がそれぞれユニークな場所で、各訪問先で多様な経験をすることができました。特に病気などで困難な状況にある方々の前で演奏した時の皆さんの喜んでくださる姿はとても印象的でした。時には音に高音に敏感で退出してしまう子どもたちもあり、そのような状況には驚きを覚えました。普段、生の音楽に触れる機会が限られている方々と直接会って、交流をして、音楽を共有できたことはとても良い機会になりました。

○天野ひまり

ツアーの中でとても印象に残ったのは、訪問先の職員の方々がとても明るかったことです。コーディネーターとして訪問先の職員の方々との関わりを持った中で、先生や職員の皆様が、生の音楽へのアクセスが限られている児童・生徒の皆様や患者様のために行動していらっしゃる事が、ツアー開始までの期間と訪問日を経てとてもよく伝わりました。日本に住んでいても訪れる機会がなかった施設や地域を訪問し、教育の現状や文化活動に関して新しく学ぶことが多く、視野が広がりました。

■ 活動概要

活動期間	2024年6月5日～6月20日
訪問先	青森県、秋田県、茨城県、群馬県、東京都、神奈川県、大阪府、奈良県、和歌山県、香川県
訪問施設数	計18か所（教育機関、医療機関、福祉施設）
参加者総数	約1900名
主催	認定NPO法人ミュージック・シェアリング
助成	日本万国博覧会記念基金((公財) 関西・大阪21世紀協会) 一般社団法人 パチンコ・パチスロ社会貢献機構 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 公益財団法人野村財団 公益財団法人朝日新聞文化財団
協力	公益財団法人日本音楽財団（日本財団助成事業）
協賛	   